



IBLCE[®]

*International Board of
Lactation Consultant Examiners*

CERPs による再認定・試験による再認定

IBCLC の再認定申請者向け[®]

もくじ

IBLCE®とは？	3
認定証更新の目的と方法	3
認定証更新の要件	4
連絡先	4
再認定に関する重要な日付	4
重要な出版物	4
試験による再認定の申請	4
申請書の記入	5
費用と支払い	5
試験会場	5
個人的な配慮	5
妊娠女性のための特別な注意	5
試験中の授乳休憩	5
言語辞書	6
試験手続き	6
試験結果報告	7
手作業による採点の要求	8
試験結果の抗議	8
継続教育承認単位（CERPs）による再認定の申請	8
申請書の記入	8
継続教育承認単位（CERPs）の種類と必要ポイント数	8
個別の CERPs	9
R-CERPs に関する追加情報	10
CERPs 証拠書類提出	10
監査方針	11
反差別方針	11
IBCLC 商標の使用方針	11
IBCLC 登録	11
IBCLC 再認定受験料一覧表	12

IBLCE とは[®]？

IBLCE[®] International Board of Lactation Consultant Examiners[®]（ラクテーション・コンサルタント資格試験国際評議会）は、国際認定ラクテーション・コンサルタント（IBCLC[®]、International Board Certified Lactation Consultant[®]）の資格を協議し授与する独立した国際認証機関です。

認定更新の目的と方法

国際認定ラクテーション・コンサルタント（IBCLC）に初回認定されると、その認定は5年間有効です。5年後に認定者は再試験または、継続教育単位（CERPs、continuing education recognition points）を得ることで認定更新ができます。CERPsで認定更新を許可する目的は、継続的な専門的能力開発を促し、生涯学習を推進することにあります。

過去に修得し、初回認定時に審査された技術と知識は、特に最新の考え方や実践を組み入れるための技術と知識が定期的に更新されていない場合には、認定申請者がこの先何年にもわたってその分野で実務を行うために必要な知識と必ずしも関連しないことが確認されています。したがって、IBLCEは5年毎の再認定を義務づけています。その5年の間には、手に入る役立つ情報やマネジメントの選択肢がかなり発展し、継続的な学習の機会がないと認定者の知識基盤は最新ではないと考えられています。5年毎の再認定という期間は、この分野での発展の速度に合わせて決定されました。

認定申請者が CERPs（継続教育単位）を使って認定証を更新するには、75単位が必要で、75単位中少なくとも50単位は母乳育児のみに関すること、5単位は職業倫理に関係していなければなりません。残りの20単位はラクテーション・コンサルタントの業務に何らかの関係のある教育から得ることができます。CERPsの必要単位数は、IBCLCとしての知識と技術の試験概要に基づいています。

- 大半の CERPs（最低50単位）は、母乳育児のみに関係のある単位でなければなりません。それは、母乳育児がテストされる知識の主な分野であるからです。
- 5単位は職業倫理に関する教育からで、それはこの重要な問題への認識を高めるためです。
- 残りの20単位はラクテーション・コンサルタントの業務に何らかの関係のある教育から得ることができます。それは、IBCLCとしての知識と技術の試験概要内のいくつかの分野は、母乳育児や倫理に関する特定の分野ではないからです。

IBLCE 再認定方針によると、認定申請者は10年毎に再試験を受けることが必要です。この再認定方針は、母乳育児についてのコンサルティングに関連する知識と認識技術を定期的に評価するためにあります。10年毎の審査は、この分野での重要な発展を取り入れた最新の実践的分析を前提としています。

5年おきの認定証更新の方法に関係なく、認定申請者は IBLCE 職務行動規範を遵守することを再確認し、職業免許取得および／または職業懲戒処分の報告をする必要があります。IBLCE はこれらを再確認することは重要であり、これにより認定申請者は倫理的義務を再認識すると考えています。

IBLCE の認定プログラムは自主的な資格を提供し、その認定は必ずしも認定者がラクテーション・コンサルタントとして業務を行う権利または特権を与えるものではありません。IBCLC（国際認定ラクテーション・コンサルタント）資格を持つ個人は、活動しているまたは活動を希望する管轄内の法的権限を厳守しなければなりません。

認定更新の要件

IBCLC（国際認定ラクテーション・コンサルタント）認定者は、5年毎に認定証を更新する必要があります。資格取得5年後に、IBCLC認定者は継続教育認定単位（CERPs、continuing education recognition points）を使って認定証を更新することもできます。活動中の国際認定ラクテーション・コンサルタントとして業務を行っている学習ニーズに合うと IBLCE が判断した教育60分が、1ポイント（1CERP）に値します。試験または継続教育認定単位（CERPs）による更新方法2つの選択肢がありますが、試験による認定の更新は常に可能で、10年毎の更新には再試験が必須です。

連絡先

International Board of Lactation Consultant Examiners (IBLCE)

ラクテーション・コンサルタント資格試験国際評議会

10301 Democracy Lane, Suite 400

Fairfax, Virginia 22030

USA

Phone:703-560-7330

Fax:703-560-7332

www.iblce.org

IBLCE は、オーストリア、オーストラリア、アメリカ合衆国に事務所を持っています。最寄りの事務所と連絡をとるには、IBLCE ウェブサイトの「Contact IBLCE」にあるフォームをご使用ください。

再認定に関する重要な日付

申請締め切りやその他重要な日付については、IBLCE ウェブサイトの「Key Dates」よりご確認ください。

重要な出版物

再認定を受ける IBCLC 認定者は、以下の出版物を熟知している必要があります。すべての出版物は、IBLCE ウェブサイトの上にある検索バーの「Resources」から「IBLCE Documents」へいくと見つけることができます。

- *IBCLC としての知識と技術の試験概要 (IBLCE Detailed Content Outline)*

- *IBCLC のための臨床能力 (Clinical Competencies for the Practice of International Board Certified Lactation*

Consultants)

- IBCLC の職務行動規範 (Code of Professional Conduct for International Board Certified Lactation Consultants)
- 懲戒の手続き (Disciplinary Procedures)
- IBCLC の業務範囲 (Scope of Practice for International Board Certified Lactation Consultants)
- IBLCE の抗議ポリシー (IBLCE Appeals Policy)

試験による再認定の申請

申請書の記入

オンラインの再認定申請書は、現在英語のみでご利用いただけます。試験による再認定の志願者で英語以外の言語で願書出願を希望する志願者は相応の形式での出願が可能です。出願の方法は IBLCE のウェブサイトの日本語で知ることができます。

費用と支払い

費用や支払い方法に関する詳細はこの書類の最後に記載されています。

試験会場

IBLCE は、コンピュータを利用した試験 (CBT) 会場の利用を拡大しています。CBT 会場のない国では、筆記試験で行います。試験会場の詳細については、IBLCE のウェブサイトを見るか、各 IBLCE 地域事務所に尋ねてください。

個人的な配慮

試験中の管理において、IBLCE は病気、障害を持つ受験者に対して相応の便宜を図るよう勤めています。試験中に何らかの配慮を必要とする志願者は、IBLCE 試験申請書に理由を記入し、またそれに伴った医療書類を提出する必要があります。

相応の便宜を図るための準備に十分な時間を確保するため、受験者は試験申請の際に IBLCE にその要求をしなければなりません。万が一、試験申請書提出後に何か問題が生じた場合は、できるだけ早く IBLCE にその要求を報告してください。

妊娠女性のための特別な注意

試験を受けるにあたって健康上の支障がある場合は、最寄りの事務所にお知らせください。状況次第で、受験者は健康合併症を理由に受験の取り消しまたは、出願の取り下げをしなければならないこともあります。

受験取り消し／取り下げの際には費用が発生します。決断をするにあたって IBLCE 事務所スタッフが詳しい情報とともにサポートいたします。

試験中の授乳休憩

IBLCE の理念と目的の焦点は、母乳育児の保護、促進、支援にあります。したがって、IBLCE が母乳

育児をする母親である受験者に適切な配慮をすることは適切です。IBLCE 試験の正当性を保ち、かつ授乳を可能にし乳児との授乳関係を保つためには、すべての要件を満たす必要があります。

IBLCE は、試験中の授乳を可能にするために授乳休憩をとる配慮をしています。試験中の授乳休憩を必要とする場合は、『試験中の授乳休憩の手順』をお読みください。この手順は、IBLCE ウェブサイトの上にある検索バーの「Resources」から「IBLCE Documents」へいくと見つけることができます。

言語辞書

IBLCE は、様々な言語で試験を準備していますが、受験者の母国語での試験がない場合は、試験中の言語辞書の使用を許可しています。

言語辞書の使用許可が下りた場合は、IBLCE が試験会場で言語辞書を提供します。個人の辞書の使用は禁止されています。IBLCE が提供する辞書は医学辞書ではありません。

試験手続き

試験会場に入場するには、2種類の身分証明が必要です。第一の身分証明書にはあなたの名前、現在の写真、とサインが、第二の身分証明書にはあなたの名前とサイン、もしくはあなたの名前と現在の写真がなくてはなりません。

第一の身分証明は次のものでなくてはなりません。

- 運転免許証（写真付き）
- 国発行の身分証明書（写真付き）
- パスポート（写真付き）
- 軍事身分証明書（写真付き）
- グリーンカード(永住権証明書)かビザ(写真付き)

第二の身分証明にはあなたの名前とサイン、もしくは名前と現在の写真がなくてはなりません。

クレジットカード（署名有り）

- 社会保障書（署名有り）
- 雇用身分証明書／学生証（署名有り）

第二の身分証明に記載されている氏名が種類一の身分証明と異なる場合は、名前変更の証明（婚姻届、離婚届、召喚状など）が必要です。

<注意>上記2種類の身分証明を持ち合わせていない場合は、前もって IBLCE 事務所にご連絡ください。試験当日までご連絡いただけないと、正しい身分証明なしでは試験会場入場はできません。

受験者は時間にゆとりを持って試験会場に到着してください。試験会場での登録が済み、試験会場入り口が閉まると、試験会場への入場は許可されません。遅刻した受験者に入場の許可はおりず、かつ試験費用返金に関するすべての権利を失います。同様に、試験当日に会場で登録できなかった受験者も試験費用返金に関するすべての権利を失います。これらの規則に例外はありません。

各試験会場は、一人または複数の試験官によって監督されます。受験者は、試験官が通知する規則に従わなければなりません。その規則は、すべての受験者が公平に、かつできる限り気を散らさないように試験を受けることを可能にするためにあります。試験中の貴重品・持ち物（財布など）の置き場所は試験官が指定します。試験中、試験官はすべての不正行為を監視しています。

試験中の携帯電話などの電子機器の使用は禁止されています。試験中に電子機器の保持および／または使用をしていることが発見された受験者は退場を命じられます。この規則に例外はありません。また、中には電源を切ってもアラームが鳴る携帯電話がありますのでご注意ください。携帯電話を試験会場に持参する場合は、必ず電源を切り（マナーモードに設定するだけでは、充分ではありません）、試験官が指示した場所に置いておかなければなりません。（注：試験官または IBLCE は試験会場内での貴重品・持ち物の損失・損傷の責任は負いかねます）試験中に受験者の携帯電話が鳴る、またはアラームが鳴った場合には、その携帯電話の持ち主の受験者は退場を命じられます。この規則に例外はありません。

試験中、他の受験者に話しかけることは禁じられています。試験に関する質問には、試験官がオリエンテーション中に回答します。試験官が試験問題を解釈したり明確にすることは禁じられています。また、言葉を定義することも禁じられています。不正行為は許されません。試験官は不正行為と判断した場合は、試験を終了する権限があります。

加えて、試験後に試験問題について他の受験者とまたは受験者以外の人と話すことは堅く禁じられています。試験問題について話すことは、IBLCE の知的財産の不正流用を表すため、倫理的、法的問題となります。IBLCE はこの問題を非常に真剣に受け取り、対処します。

試験はコンピュータまたは筆記で行われます。コンピュータを利用した試験では、受験者はコンピュータ画面上の質問に答えます。筆記試験では、質問冊子と回答シートがあり、回答シートに鉛筆で回答を記入します。

試験結果報告

正式な試験結果は試験後 2 か月から 3 か月の間に志願者宛てに郵送されます。合格した志願者には、試験結果とともに IBCLC 資格証と身分証明書も送られます。

手作業による採点の要求

試験が正しく審査されなかったと信じる受験者は、手作業によるスコアの確認を要求できます。手作業による採点の申請方法と関連の費用に関する詳細は、IBLCE の抗議ポリシー（IBLCE Appeals Policies）に記載されています。IBLCE の抗議ポリシーは、IBLCE ウェブサイトの上にある検索バーの「Resources」から「IBLCE Documents」へいくと見つけることができます。

試験結果の抗議

試験の不備または他の不正で試験に失敗したと信じている受験者は抗議することができます。詳細は、IBLCE の抗議ポリシー（IBLCE Appeals Policies）に記載されています。IBLCE の抗議ポリシーは、IBLCE ウェブサイトの上にある検索バーの「Resources」から「IBLCE Documents」へいくと見つけることができます。

継続教育単位（CERPs）による再認定の申請

費用、締め切りなどに関する詳細は、IBLCE ウェブサイトの真ん中辺りにある欄の「Recertify」枠内の「Application Information」よりご確認いただけます。

申請書の記入

オンラインの再認定申請書は、現在英語のみで利用できます。CERPs で再認定を受けようとする志願者で他の言語での願書を希望する者は相応の願書の提出を受け付けます。願書の提出方法は日本語で書かれている IBLCE のウェブサイトで調べてください。

継続教育認定単位（CERPs）の種類と必要ポイント数

IBLCE が与える CERPs は、学習内容によって3つのカテゴリーに分類されます。

- L-CERPs：特にヒトの授乳と母乳保育、そして母乳育児をする家族への支援に関する学習
- E-CERPs：保健医療従事者の職業倫理、行動、規範に関する学習
- R-CERPs：ラクテーション・コンサルタントの業務に何らかの関係のある学習（オプションカテゴリー）

CERPs を使って再認定をするためには、IBCLC 認定者は認定5年おきに少なくとも75単位(CERPs)を得なければなりません。これらの75単位(CERPs)は、必ず以下の最低必須条件を満たさなければなりません。

- 最低50L-CERPs
- 最低5E-CERPs
- L-CERPs または E-CERPs、R-CERPs から最低20単位

CERPs は IBLCE が CERPs のために認定しているものでも、IBLCE 以外が認定した教育活動でも適正な教育活動によってなされます。IBLCE がすでにその教育を CERPs と認めていたなら修了証には CERPs 登録番号、CERPs のカテゴリーと与えられる CERPs の数が示されています。

修了証に、継続教育認定単位 (CERPs) のカテゴリーとポイント数が記載されていない場合は、CERP 個人申請書を提出する必要があります。この CERP 個人申請書は、継続教育認定単位 (CERPs) による再認定申請書と共に提出しなければなりません。IBLCE は提出された学習内容を見直し、適切な継続教育認定単位 (CERPs) を授与するか否定をします。提出された学習内容が条件を満たさない場合は、IBLCE が直接連絡をします。CERP 個人申請ガイドブックは、IBLCE ウェブサイトの上にある検索バーの「Resources」から「IBLCE Documents」へいくと見つけることができます。

CERPs 個人申請

CERP 個人申請をすることによって、以下の活動内容から L-CERPs、又は E-CERPs、R-CERPs を得ることができます。詳細と制約事項は、CERP 個人申請ガイドブックを参照下さい。そのガイドブックは、IBLCE ウェブサイトの上にある検索バーの「Resources」から「IBLCE Documents」へいくと見つけることができます。

- 査読のある雑誌、又は編集本の記事、解説、章の掲載
- 修士論文、又は博士論文
- ポスターによる学会発表
- 専門家のためのビデオ
- 独自の病院規約、又は方針
- 臨床観察
- ヒトの母乳と母乳育児に関する教育プログラム／コースへの出席
- 教育的講義の提供
 - 講演者は、2 倍のクレジットを得ることができます。例)講演者として 60 分毎に 2 CERPs。

内容が IBCLC としての業務に関連していれば、その内容次第で、その学習活動に対してそれぞれ適切な L-CERPs、又は E-CERPs、R-CERPs が与えられます。

R-CERPs に関する追加情報

再認定に使える R-CERPs は、最高 20 R-CERPs までです。また、R-CERPs は強制ではありません。R-CERPs は、ラクテーション・コンサルタント業に関わる継続学習に対して与えられるポイントです。R-CERPs を得ることのできる講座／学習コースの例は以下の通りです。

- 解剖学総論
- 乳児の成長と発達
- 研究方法と統計
- 健康習慣における文化の違い
- 産後うつ病
- カウンセリング、又はコミュニケーション技術
- 成人教育の原則
- 乳児マッサージ実習
- 補完療法（概要セッションのみ）

認定から 5 年の期間内に、以下の救命処置コースの内 1 つ以上のコースを修了することで 6 R-CERPs までを得ることができます。

- CPR（心肺機能蘇生／Cardio-Pulmonary Resuscitation）
- NRP（新生児蘇生プログラム／Neonatal Resuscitation Program）
- PALS（小児二次救命処置／Paediatric Advanced Life Support）
- ACLS（二次心臓救命処置／Advanced Cardiac Life Support）
- S.T.A.B.L.E（Sugar & safe care, Temperature, Airway, Blood pressure, Lab work, Emotional support）

それぞれのコースを修了することで 3 R-CERPs を得ることができ、最大 6 CERPs まで取得できます。コースの講師は 6 R-CERPs を取得することができます。

<注意>IBLCE は、取得した認定書の数に関わらず、5 年につき最高 6 R-CERPs までを許可しています。あなたの申請書が監査に選ばれた際には、これらの救命処置のコースを修了したことを証明するために、認定書の表と裏のコピーを送ってください。

CERPs 証拠書類提出

修了した教育活動（CERPs もしくは CERPs に相当するもの）の一覧をできれば年度順にして申請書に記載してください。監査に選ばれた際には、修了証のコピーを提出する必要があります。IBLCE は、認定教育プログラムに参加し、継続教育認定単位（CERPs）を与えられた参加者の記録は保持しておりません。修了証を紛失した場合は、教育コース主催者に直接連絡をする必要があります。

監査方針

IBLCE は初回の願書と CERPs による再認定の願書の最少数を監査します。 監査は定期的および無作為に行われます。監査に選ばれた場合は、志願者または再認定者はすべての必要詳細を規定期間内に提供しなければなりません。期間内に詳細を提供しなければ、IBLCE 試験の受験や CERPs による再認定の遅延か拒否となる場合もあり、懲戒処分に繋がる可能性があります。

上記の定期的および無作為な監査に加えて、IBLCE は志願者または再認定者に、教育、雇用、授業の証明または、初期の適格性、再認定要件を提供するよう要請する権利を所有します。期間内に十分な詳細を提供しなければ、IBLCE 試験受験や CERPs による再認定の遅延か拒否となる場合もあり、懲戒処分に繋がる可能性があります。

IBLCE が願書または再認定申請書とともに提出された書類が不正確または偽造であると判断した際は、IBLCE は志願者の受験や再認定を禁じ、懲戒処分にする権利を所有します。

反差別方針

IBLCE は、申請または試験、認定に関する運営管理において、性別または、性的指向、年齢、人種、肌の色、国または民族、宗教、信仰、障害による差別はいたしません。

IBCLC 商標の使用方針

ラクテーション・コンサルタント資格試験国際評議会 (IBLCE) は、IBLCE を含む特定の名前と商標、ロゴを所有し、その認定で国際認定ラクテーション・コンサルタントと IBCLC を印づけ、それを the “Marks” といいます。IBLCE の資格要件を満たし、IBLCE 試験に合格し、IBCLC 認定証を維持した個人のみが the Marks を使用することができます。The Marks の使用は、IBCLC 商標の使用方針と契約条件に従ってのみ可能です。IBCLC 商標の使用方針は、IBLCE ウェブサイトの上にある検索バーの「Resources」から「IBLCE Documents」へいくと見つけることができます。

IBCLC 登録

IBLCE は現在の IBCLC の名前を公表する権利を有します。この登録簿は、IBLCE ウェブサイトにある「Verify」枠内で確認できます。IBCLC 資格を喪失した場合、一回、一年以内の試験には必要とする臨床時間や教育なしでも受験できます。つまり、4 月か 10 月の試験に受験料さえ支払えば受験できるということです。その後受験しようとするなら、初めての志願者が受験願書提出のときに必要とされるすべての条件が必要になります。

2017 年 IBLCE 再認定受験料一覧表

IBLCE 受験料に関する地域割

地域 1	<p>アンドラ、アルバ、オーストラリア、オーストリア、バーレーン、ベルギー、バミューダ、ブルネイ・ダルサラーム、カナダ、ケイマン諸島、キプロス、チェコ共和国、デンマーク、赤道ギニア、エストニア、フォークランド諸島、フィンランド、フランス、フランス領ポリネシア、ドイツ、ジブラルタル、ギリシャ、グリーンランド、グアドループ、グアム、香港、ハンガリー、アイスランド、アイルランド、イスラエル、イタリア、日本、カザフスタン、クウェート、リヒテンシュタイン、リトアニア、ルクセンブルク、マカオ、マレーシア、マルタ、マルティニーク、モナコ、オランダ、ニューカレドニア、ニュージーランド、ノルウェー、オマーン、ポーランド、ポルトガル、プエルトリコ、カタール、レユニオン、サンマリノ、サウジアラビア、セイシェル、シンガポール、スロバキア、スロベニア、韓国、スペイン、スウェーデン、スイス、台湾、トリニダード・トバゴ、アラブ首長国連邦、イギリス、アメリカ合衆国、ヴァージン諸島（英国・米国）</p>
地域 2	<p>アルバニア、アルジェリア、アメリカ領サモア、アンゴラ、アンギラ、アンティグア・バーブーダ、アルゼンチン、アルメニア、アゼルバイジャン、バハマ、バルバドス、ベラルーシ、ベリーズ、ブータン、ボスニア・ヘルツェゴビナ、ボツワナ、ブラジル、ブルガリア、チリ、中国、コロンビア、クック諸島、コスタリカ、クロアチア、キュラソー島、ドミニカ、ドミニカ共和国、エクアドル、エジプト、エルサルバドル、フィジー、ガボン、ジョージア、グレナダ、グアテマラ、インドネシア、イラク、ジャマイカ、ヨルダン、コソボ、ラトビア、レバノン、リビア、マケドニア、モルディブ、モーリシャス、メキシコ、モンゴル、モンテネグロ、モントセラト、モロッコ、ナミビア、北マリアナ諸島、パラオ、パナマ、パラグアイ、ペルー、ルーマニア、ロシア、セルビア、南アフリカ共和国、スリランカ、セントキッツ・ネイビス連邦、セントルシア、シント・マールテン、セント・ビンセントおよびグレナディーン諸島、スリナム、スワジランド、タイ、チュニジア、トルコ、トルクメニスタン、ウクライナ、ウルグアイ、ベネズエラ、</p>
地域 3	<p>アフガニスタン、バングラデシュ、ベナン、ボリビア、ブルキナファソ、ブルンジ、カンボジア、カメルーン、カーボベルデ、中央アフリカ共和国、チャド、コモロ、コートジボワール、コンゴ民主共和国、ジブチ、エリトリア、エチオピア、ミクロネシア連邦、ガンビア、ガーナ、ギニア、ギニアビサウ、ガイアナ、ハイチ、ホンジュラス、インド、ケニア、キリバス、キルギス、ラオス、レソト、リベリア、マダガスカル、マラウイ、マリ、マーシャル諸島、モーリタニア、モルドバ、モザンビーク、ミャンマー(ビルマ)、ネパール、ニカラグア、ニジェール、ナイジェリア、北朝鮮、パキスタン、パプアニューギニア、フィリピン、コンゴ共和国、ルワンダ、サモア、セネガル、シエラレオネ、ソロモン諸島、ソマリア、南スーダン、スーダン、シリア、タジキスタン、東ティモール共和国、トーゴ、トンガ、ツバル、ウガンダ、タンザニア、ウズベキスタン、バヌアツ、ベトナム、西サハラ、イエメン、ザンビア、ジンバブエ</p>

2017 年料金表

Tier One Prices

地域 1 の国 Japan	試験による再 認定 <i>Exam Fee</i>	CERP による 再認定 <i>CERP Fee</i>	手作業による 採点 <i>Hand Score</i>	非十分な資金・支 払失敗の料金 <i>Insufficient Funds Fee</i>	受験不適正、特定の締 切までに受験取り下げ をした再認定受験希望 者への返金 <i>Refund for Candidates who are ineligible or withdraw by deadline</i>
USD	\$470	\$470	\$100	\$50 と IBLCE の 銀行からの手 数料	\$235

Tier Two Prices

地域 2 の国	試験による再 認定 <i>Exam Fee</i>	CERP による 再認定 <i>CERP Fee</i>	手作業による 採点 <i>Hand Score</i>	非十分な資金・支 払失敗の料金 <i>Insufficient Funds Fee</i>	受験不適正、特定の締 切までに受験取り下げ をした再認定受験希望 者への返金 <i>Refund for Candidates who are ineligible or withdraw by deadline</i>
USD	\$350	\$350	\$90	\$50 と IBLCE の 銀行からの手 数料	\$175

Tier Three Prices

地域 3 の国	試験による再 認定 <i>Exam Fee</i>	CERP による 再認定 <i>CERP Fee</i>	手作業による 採点 <i>Hand Score</i>	非十分な資金・支 払失敗の料金 <i>Insufficient Funds Fee</i>	受験不適正、特定の締 切までに受験取り下げ をした再認定受験希望 者への返金 <i>Refund for Candidates who are ineligible or withdraw by deadline</i>
USD	\$250	\$250	\$70	\$50 と IBLCE の 銀行からの手 数料	\$125

申請の締め切りについての最新情報は iblce.org をご覧ください。

オンラインで申請をする場合は米ドルで決済され、レートは当日のものとなります。オンラインシステムを利用する場合、支払いもオンラインで行わなければなりません。システムでは、クレジットカードやプリペイドクレジットカードの利用が可能です。書面で申請を行う場合、料金は上記の通りです。詳細について相談が必要な場合は、カンントリーコーディネーターにお問い合わせください。